CASBEE神戸 ver. 1

▮評価結果▮

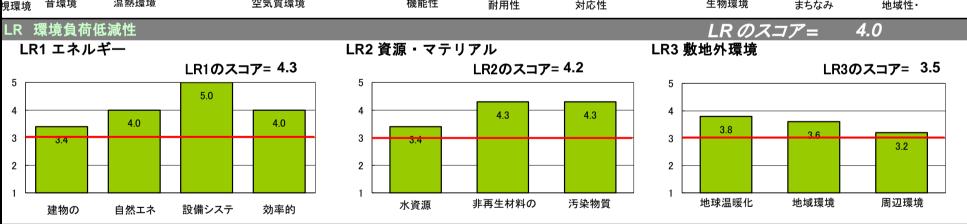
■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver

■使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.1 [orijinal/CASBEE-NCb_2010(v.1.6)]



2-3 大項目の評価(レーダーチャート) 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート) BEE =3.2Q2 サービス 性能 S: ★★★★ A: ★★★★ B*: ★★★ B-: ★★ C: ★ 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆ BEE=1.0 ■建設 ■修繕・更新・解体 □運用 ■オンサイト ■オフサイト 標準計算 100 Q3 室外環境 ①参照值 100% 室内環境 (敷地内) 100% 2 ②建築物の取組み 79% 79% Q B-③上記+②以外の 78% 50 78% 0.5 LR1 LR3 떈 78% 4)上記+ 環境。 78% エネルギー 敷地外環境 C (kg-CO₂/年•m²) LR2 資源· このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般 マテリアル 的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安 100 で示したものです(kg-CO2/年・㎡) 2-4 中項目の評価(バ・ Q 環境品質 $Q \mathcal{O} \mathcal{X} \mathcal{I} \mathcal{T} =$ 4.0

Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q1のスコア= 3.8 Q2のスコア= 4.5 Q3のスコア= 3.8 5 4.7 4.7 4.5 4 4.4 4.2 3.9 4.0 2.8 2 温熱環境 機能性 音環境 空気質環境 生物環境 耐用性 対応性 まちなみ 地域性: 涀環境





- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される ■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい